

科目名称	物理療法学
授業コード	AD158
英語名称	Physical Agents
学期	2024年度後期
単位	1.0
担当教員	平賀 篤, 安孫子 幸子, 渡邊 郁海
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	物理療法は運動療法とともに理学療法の重要な基本手段の一つである。この講義では先ず、物理学や生理学で得た基礎的事項を再確認しながらその作用を背景にした物理療法がどのように生体に影響を与えるかを解説する。講義内では病院にて様々な領域の症例を経験した教員が、経験と知識を基に物理療法の種類、目的、効果、適応と禁忌、リスク管理などを含め講義し、各種の物理療法を安全かつ効果的に実施することができるよう、機器の操作方法について教示する。
科目に関連する実務経験と授業への活用	臨床現場にて長年物理療法を活用してきた複数教員が実際の使用方法、リスク管理、最新の知見を網羅して講義する。
到達目標	ディプロマ・ポリシーに掲げる理学療法士国家資格に準拠する専門的知識の修得ならびに臨床力のある問題解決能力について学ぶことを目標とする。 具体的には物理療法の種類、目的、効果、適応と禁忌、リスク管理などを含め理解した後、各種の物理療法を安全かつ効果的に実施することができるよう、機器の操作方法について教授する。授業目標は、臨床の場面で状況に応じた適切な物理療法手段を選択し、実施する能力を身につけることである。
計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 物理療法総論・機器管理 (平賀：理学療法士)</li> <li>2) 温熱・寒冷療法：温熱寒冷療法概論，ホットパック，パラフィン浴、伝導冷却法，気化冷却法，対流冷却法，極低温療法 (平賀：理学療法士)</li> <li>3) 光線療法：光線療法概論，赤外線、紫外線、レーザー (平賀：理学療法士)</li> <li>4) 水治療法、牽引療法：水治療法概論，渦流浴・気泡浴，ハバードタンク，プール浴、牽引療法概論，頸椎・腰椎牽引療法 (平賀：理学療法士)</li> <li>5) 超短波療法，極超短波療法、超音波療法 (平賀：理学療法士)</li> <li>6) 電気刺激療法：電気刺激療法概論，治療的電気刺激療法，経皮的末梢神経電気刺激療法、干渉波電気刺激療法，機能的電気刺激療法、ハイフットパッド療法 (平賀：理学療法士)</li> <li>7) 物理療法トピックス 海外の物理療法と最新の動向 (我孫子：理学療法士)</li> <li>8) 物理療法トピックス 物理療法の臨床実践 (渡辺：理学療法士)</li> </ol> <p>* 上記授業計画は授業進行状況により変更することもある</p>
授業の進め方	教科書中心の講義を主体に行うが、パワーポイントによるスライド、資料なども使用する。 適宜デモンストレーションを行うことがある。 また、物理療法の理解を深めるため、理学療法士国家試験問題などを使用した物理療法演習（確認試験）

授業の進め方	を授業時間内に実施するので予習復習を実施される事を期待する。
能動的な学びの実施	各講義内にて物理療法機器を使用する時間を設け、効果的な使用方法や対象者の違いによる設定調整などをグループワークにてディスカッションする。
授業時間外の学修	授業前には該当範囲の教科書部分を確認し、授業後不明点を復習しておく（合計15時間程度）
教科書・参考書	【教科書】：上杉雅之監修，イラストでわかる物理療法，医歯薬出版株式会社，2019年第1版 ￥4000
成績評価方法と基準	・授業中の小テストと提出課題（20％）と期末試験（80％）結果を総合的に判定して、成績評価を行う。
課題等に対するフィードバック	小テストを実施した場合、授業内で適宜解説を行う
オフィスアワー	Campussquareを参照
留意事項	本科目の知識は「物理療法学実習」にて引き続き活用するため、自主的に継続した学習をすることを期待する。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	Zoomを使用し、オンラインでの講義を展開する。実演予定の物理療法機器については動画配信やデモ動画を作成することで補填する。 授業中の小テストと提出課題（20％）と期末課題（80％）結果を総合的に判定して、成績評価を行う。